

## 『ドイツ語教育』執筆申し込み要領

1. 『ドイツ語教育』へのフォーラム・論文・研究ノート・実践報告・書評・新刊紹介・開催報告の執筆をご希望の会員の方（申し込み時点で教育部会会員であること）は、まず次のいずれかの方法でお申し込みください。
  - (1) 住所・氏名・題目を申込締切日までに送付する。論文・研究ノート・実践報告の場合には、要旨（本文800字程度、要旨本文中に文献の指示がある場合は、欄外にその出典を明記してください）も送付する。（この場合、原稿締切日までに、執筆要領を参考にして作成した原稿をお送りいただくことになります。）
  - (2) 執筆要領を参考にして作成した原稿を申込締切日までに送付する。
2. 審査について  
申し込み締め切り後、送付された要旨あるいは原稿をもとに、第1回審査を行います。その際、編集委員会から付帯条件を添える場合もあります。要旨での申し込みについては、原稿締め切り後、改めて審査（第2回審査）を行い、最終的な採否を決定します。編集委員会は、公平性を保つためにブラインド審査を行い、必要に応じて適宜外部の査読委員を依頼します。
3. 投稿原稿は未発表のものに限ります。ただし、口頭またはそれに準じる形式で発表されたものについてはこの限りではありません。
4. 採択された記事はすべて教育部会の会員専用ページにもアップされます。論文については、刊行して1年が経過した後、J-STAGEにもアップされる予定です。そのことを了承のうえご投稿ください。
5. 著作権は、発行日から2年間は日本独文学会ドイツ語教育部会と著者が共有し、その後は著者のみが有するものとします。本誌の発行後2年を経過したものについては、ホームページ等での公開および他の出版物への転載（翻訳、改編、一部利用等を行う権利を含む）が可能です。その場合は、編集委員会にお知らせください。
6. カテゴリー  
以下のカテゴリーがあります。投稿にあたっては、もっとも適切なものをお選びください。

フォーラム：編集委員会が定めるテーマについての意見。

論文：独自のテーゼを含む学術論文。

研究ノート：実証的あるいは理論的研究の中間報告，もしくは独自の視点に基づく研究レビュー。

実践報告：独自の実践に関する報告。

書評：研究書や教材等の刊行物について，先行研究・先行事例との関連において批評したもの。

新刊紹介：最近出版された刊行物の紹介。

開催報告：ゼミナール，ワークショップ等の主催者あるいは参加者による報告。

ドイツ語ミニ情報：ドイツ語，ドイツ語圏の文化・社会，文学などに関する情報提供，授業のヒントなど。

おしらせ：ドイツ語教育に関する催し物等についての情報。

## 7. 原稿について

以下の分量および書式にしてください。（図表や写真は1点につき半ページ分で計算してください。）

	日本語での執筆の場合	ドイツ語での執筆の場合
	用紙：A4（横書き） 文字：明朝，Times New Roman ポイント：12 P 余白：左右上下とも3 cm 字数・行数：35字×35行	Format: A4 Schrift: Times New Roman Schriftgröße: 12 P Seitenränder: alle jeweils 3 cm Zeilen: 30 Zeilen
フォーラム	2枚	2 Seiten
論文	15枚以内 +ドイツ語のレジュメ2枚以内	18 Seiten
研究ノート	6枚以内	8 Seiten
実践報告	6枚以内	8 Seiten
書評	6枚以内	8 Seiten
新刊紹介	2枚以内	2 Seiten
開催報告	6枚以内	8 Seiten
ドイツ語ミニ情報	2枚	2 Seiten
おしらせ	1枚以内	1 Seite

- (1) 論文以外の場合、ドイツ語のレジュメは不要ですが、ドイツ語の表題と執筆者名のローマ字表記をお書き添えください。
  - (2) ドイツ語で執筆の場合は、ドイツ語の執筆要領をご覧ください。
  - (3) ドイツ語の原稿やドイツ語のレジュメ、表題は、あらかじめドイツ語母語話者に目を通してもらってください。
  - (4) 掲載が決まった原稿には、雑誌としての統一の必要上、漢字・仮名づかいその他、編集委員会で手を入れさせていただく場合があることをご了承ください。
  - (5) 送付された原稿は返却いたしません。
  - (6) 原稿についての詳細は執筆要領を参照してください。
8. 「フォーラム」「ドイツ語ミニ情報」「おしらせ」への投稿  
「フォーラム」のテーマは、教育部会ホームページで発表します。テーマについてのご提案がありましたら、red@vdjapan.org までご意見をお寄せください。  
また、「ドイツ語ミニ情報」「おしらせ」への情報掲載ご希望の方は、原稿を2017年8月31日までに、下記送付先へお送りください。
9. 送付先  
執筆申し込みおよび原稿は、下記アドレスへ Word ファイルを添付のうえメールでお送りください。  
E-Mail: red@vdjapan.org
10. 締切日  
第22号の締切日は以下のとおりです。
- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 申込締切日              | 2017年5月31日 |
| 要旨で執筆申込をした場合の原稿締切日 | 2017年8月31日 |

# 『ドイツ語教育』執筆要領

## 1. 原稿について

- (1) 原稿は、必ず決定稿を Word ファイルで送付すること。
- (2) 図版がある場合は、データをメールに添付すること。1点につき半ページで計算します。
- (3) 校正段階での加筆はできません。

### 1.1. 日本語の場合

- (1)
  - a) 原稿 1 枚目は、上部 4 行に表題・執筆者氏名を明記し、9 行目から本文を書き始める。
  - b) 段落の書き出しは 1 字下げる。
  - c) 句読点にはブントク [.] とコンマ [,] を用いる。
  - d) 作品名・雑誌名には原則として『 』, 引用文には「 」を用いる。ドイツ語の引用文にはドイツ語引用符 „ ” を用いる。
  - e) 用字用語は、原則として常用漢字・新仮名づかいを用いる。一般に用いられていない表現・文字は避けること。(雑誌としての統一のため、漢字・仮名づかいその他、編集委員会で原稿に手を入れることもありますので、ご了承ください。)
  - f) 日本語文中の括弧、ブントク、コンマ、コロ、セミコロは全角のものを用いること。
  - g) 欧文中の括弧、ブントク、コンマ、コロ、セミコロは半角のものを用いること。また、これらの後や注番号の後には、半角あけること。
- (2) 参考文献は末尾にまとめて挙げること。

### 1.2. ドイツ語の場合

- (1)
  - a) 原稿 1 枚目は、上部 5 行に表題・執筆者氏名を明記し、6 行目から本文を書き始める。
  - b) 段落の書き出しは 3 字下げる。
- (2) レジュメは不要。

## 2. 注のつけ方 (原則として脚注にしてください)

注は通し番号とし、本文中の関係箇所にアラビア数字と半括弧をつける。注が文全体にかかわるときは、ブントクなどの後ろにつける。

例：…」<sup>1)</sup> …、<sup>2)</sup>